

スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市になっている

アジア競技大会を契機として、躍動するアスリートの姿を観ることでスポーツへの関心がより高まり、大会で実施されるアジア特有の競技を含む多種多様なスポーツを知ることでスポーツは競技だけではなく、散歩やダンス、健康体操、サイクリングなど文化としての身体活動を意味する幅広い概念であり、一部の人のものではない「みんなのもの」という意識が浸透し、スポーツを日常生活の中に位置付けることができるようになっていきます。

このように、スポーツは年齢や性別、障害の有無、国籍などに関わらず誰もが参画できるものであり、すべての人がその適性や関心に応じて、楽しみながら日常的・自発的に身体活動を含むスポーツに継続して親しむことで、子どもの健やかな心身を育むとともに、生活習慣病の予防・改善や介護予防に繋がり、市民の心身の健康増進や生きがいに満ちた生き方を実現し、健康長寿が実現したまちとなります。

また、スポーツ大会やトップアスリートとの交流、各種イベントの実施、さらには、ボランティアをはじめとする市民活動への参加意欲の高まりによる市民の社会貢献が定着することで、地域の一体感が高まり、活性化され活力に満ちたまちが実現しています。

■ 取り組みの方向性

1 アクティブライフの推進、健康増進

2 子どものスポーツの充実

3 地域活性化、市民活動の促進

FUN+WALK PROJECT

どうせ歩くなら「楽しく歩きましょう」。スポーツ庁では、働き盛りの人に「歩きやすい服装」で通勤・勤務するプロジェクトに取り組んでいます。また、楽しく歩くきっかけづくりとなる「アプリ」（歩数に応じたゲーム機能やクーポン獲得）も提供しています。

毎日の通勤を少し工夫することで、一日の滑り出しがスムーズになり、ついつい歩いてしまうこともあるかもしれません。この「ついつい」が大切なのです。「気持ちがよく気がつけば歩いていた」となれば、その習慣はきっと長続きするでしょう。

スポーツ庁では、働き盛りの方のスポーツ参画人口拡大を通じて国民の健康増進を図る官民連携プロジェクト「FUN+WALK PROJECT」を推進しています。歩くことをもっと楽しく、楽しいことをもっと健康的なものに変えていく本プロジェクトにおいて、スポーツ参画人口の拡大を通じて国民の健康増進を目指しています。

（引用：スポーツ庁Web広報マガジン「DEPORTARE」～数字でみる！たった「10」分プラスで病気が防げる？）

歩くことを「もっと楽しく」に変えていくプロジェクト
FUN+WALK PROJECT



スポーツ庁Web
広報マガジンのホ
ームページはこちら



■取り組みの方向性

1 アクティブライフの推進、健康増進

大会の開催により、市民にとってスポーツが身近なものであるという意識が浸透し、誰もが生涯にわたって気軽に楽しく身体活動を含むスポーツに親しみ、活動的で充実した生活を送ることができる土壌を創出することで、より多くの市民の習慣的な身体活動を促進し、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じた健康寿命の延伸をはかります。

○主な取り組み

スポーツ実施機会の提供【教育委員会】

より多くの方に運動・スポーツに親しみ、楽しみ、ささえる機会を提供するため、本市で活動しているトップスポーツチームなどの関係団体と連携協働し、スポーティブ・ライフ月間、市民スポーツ祭等の大会・イベントを実施するとともに、将来のスポーツの担い手であるアスリートへの支援を実施します。



スポーティブライフ in 瑞穂

障害者スポーツセンターの運営【健康福祉局】

障害者の社会参加の促進のため、本市における障害者スポーツの拠点として、スポーツ参加の機会と、健康づくりから競技水準の向上まで幅広いニーズに対応できる質の高いサービスを提供します。



車いすテニスの練習風景

健康増進事業及び受動喫煙対策の推進【健康福祉局】

市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上をはかるため、栄養・食生活、身体活動・運動などに関する支援、普及啓発などの健康増進事業を総合的に推進するほか、受動喫煙を防止するための対策を推進します。



「健康ミニナルBook」と喫煙時の配慮義務ポスター

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策3	生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
施策10	生涯にわたる学びやスポーツを通じた生きがいづくりを支援します
施策27	歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します

大会を通じて、トップアスリートたちが不断の努力を重ね、活躍する姿を間近に見ることで、子どもたちがスポーツの素晴らしさを感じ、スポーツへの関心を高めるとともに、大会で行われる多様な競技を知ることによってスポーツが身近で楽しいものであるという意識が浸透します。

そうした経験を通じて、子どもが身体活動を含むスポーツを楽しむことで心身ともに健全に発達・成長し、生涯にわたって健康で充実した生活を送ることができるよう、運動習慣の確立をはかるとともに、学校での体育活動や地域における運動機会の充実に取り組みます。

○主な取り組み

小学校部活動のあり方検討（部活動の振興（小学校））【教育委員会】

児童のスポーツへの関心を高めるとともに、豊かな心と健やかな体の育成に向けて、部活動の充実と活性化をはかるため、部活動顧問・外部指導者の派遣を実施するとともに、教員が指導しない小学生の放課後における運動・文化活動の新たな仕組みを構築します。



放課後の部活動

元気いっぱいなごやっ子の育成事業【教育委員会】

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現や体力・運動能力の向上に向けた取り組み、学校給食を通じて食生活に必要な知識と判断能力を育むことなどを通して、運動習慣や早寝早起き・朝食の摂取などの望ましい生活習慣を形成します。



元気に遊ぶなごやっ子

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策14

子どもの個性を大切にし、幅広い学力と豊かな心、健やかな体を育みます

日本で一番子どもを応援！

本市では、子どもは生まれながらにして一人ひとりかけがえない存在であるという認識のもと、子どもの権利を保障するとともに、さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親を総合的に支援するため、子どもの目の前の進路にとどまらず将来の針路を応援し、子ども自身が自分で職業だけでなく生涯を通じたライフプランを描けるよう発達段階に応じた支援に取り組むなど、子どもの尊厳を守り、子どもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいます。



ナゴヤ子ども応援
大綱に関するポ
ムページはこちら



3 地域活性化、市民活動の促進

大会を契機として、スポーツを地域の魅力やまちづくりの核とすることで地域の活性化をはかるため、東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウンの取り組みや本市を拠点とするトップ・スポーツチームとの連携を通じて、トップアスリートと市民との交流を促進します。

また、アジア競技大会をはじめとした大規模競技大会におけるスポーツ・ボランティアなどスポーツをささえる機会への参加を通じて、市民活動への関心を高め、身近な地域活動に主体的に関わる機運を醸成します。

○主な取り組み

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業【観光文化交流局】

スポーツを活かした名古屋の魅力を創出・発信するとともに、世界レベルのアスリートと市民との交流をはかりスポーツに親しみ、楽しむ機会を提供するため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウンとして、相手国であるカナダ、フランス、ウズベキスタンとの交流事業を産学官民が連携して実施します。



カナダ車いすバスケットボール代表チーム事前キャンプ

地域コミュニティ活性化の推進【市民経済局】

地域コミュニティの活性化をはかるため、地域団体等への参加を促進するほか、コミュニティサポーターの派遣、大学等との連携強化や若い世代の地域活動への参加など地域活動に対する支援を実施します。



地域団体交流

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
施策44	地域主体のまちづくりを進めます

○まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値 (2030年度)
健康寿命	男性 79.39年 女性 83.70年 (平成29年)	平均寿命の伸びを上回るよう延伸
運動をすることが好きな子どもの割合	小 64.1% 中 54.2%	小 68% 中 58%

スポーツにより、都市のブランドが確立するとともに、名古屋の魅力が国内外に発信されることで、にぎわいあふれ市民が誇りをもてる都市になっている

アジア競技大会の開催を契機に、継続的な大規模スポーツ大会の誘致やトップアスリートの輩出につながり、スポーツが新たな都市ブランドのひとつとして国内外から認識され、市民が世界的なスポーツイベントを身近に体験することで、名古屋に対する市民の誇りと愛着が高いまちとなっています。

また、アジア競技大会の開催を契機に、スポーツにとどまらず、歴史・文化などの名古屋の魅力が国内外に発信されることにより、本市への来訪を目的とした旅行者が増加し、にぎわいにあふれるとともに、大会を契機としてホスピタリティが向上し、本市を訪れる人を受け入れる環境が整った来訪者へのおもてなしが充実したまちが実現しています。

■ 取り組みの方向性

- 1 スポーツを活かした魅力の創出・発信
- 2 大規模競技大会・イベントの誘致・開催
- 3 アスリートへの支援
- 4 名古屋が有する魅力資源の発掘・向上・発信
- 5 インバウンドの促進、受入環境の整備

につぼんど真ん中祭り～名古屋の夏の風物詩～

日本のど真ん中、真夏の名古屋を舞台に繰り広げる日本最大級の踊りの祭典にして、国内外から集結する約 200 チーム23,000 人が地域色豊かな踊りを披露する、誰でも参加できる市民参加型の新しいスタイルのお祭りです。

3 日間の来場者数は約 200 万人の観客動員を数え、名古屋の街は華やかなお祭り一色になります。それぞれのチームが情緒ある地域文化をリズムカルにアレンジした音楽にのせて、華やかな衣装や目を見張るほどの演出を繰り広げます。

「観客動員ゼロ＝全員参加型」の祭りをコンセプトに掲げるどまつり。中でも参加者も観客も一緒に踊りが楽しめる、どまつり名物「総踊り」では、2010年にギネス世界記録™ "世界一の総踊り"として認定されました。



につぼんど真ん中
祭りホームページ
はこちら



■取り組みの方向性

1 スポーツを活かした魅力の創出・発信

大会の開催成功が、市民にとっての誇りの一つとなるとともに、これまで積み上げてきた名古屋のブランド力に加え「スポーツ」が本市のイメージを構成する新しい魅力の一つとなり、市内に拠点を置くプロスポーツチームが多く存在するなど本市が有するスポーツコンテンツを活用したスポーツプロモーションやスポーツツーリズムを促進することで、本市の魅力の創出・発信につなげます。

○主な取り組み

スポーツを活かした魅力の創出・発信【観光文化交流局】

スポーツを通じて都市魅力を向上させるため、スポーツツーリズムを推進するとともに、パブリックビューイングの開催支援など、スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりを推進します。



パブリックビューイング

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策37	歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

2 大規模競技大会・イベントの誘致・開催

大会の開催に向けて、多くの市民や民間事業者などが幅広く参加できる多様な取り組みを通じて、名古屋のまち全体で一体となって機運を醸成し、大会の成功に寄与します。

また、アジア競技大会を開催する本市をスポーツコンベンションの場として位置付けて、国内外にプロモーションし、大規模競技大会・イベントの誘致・開催を行うことで都市ブランドの向上や都市活力の活性化につなげます。

○主な取り組み

国際競技大会等の誘致・開催【教育委員会】

スポーツを通じて国内外に名古屋の都市魅力を発信していくとともに、世界レベルのアスリートと市民との交流をはかりスポーツに親しみ・楽しむ機会を提供するため、関係団体と連携協働し、世界規模のマラソンフェスティバルを開催するとともに、国際競技大会等の誘致を推進します。



マラソンフェスティバル
ナゴヤ・愛知

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策38	観光の振興・ ^マ ^イ ^ス M I C E の推進と情報発信により交流を促進します
施策39	スポーツを ^い 活かしてまちの魅力と活力を高めます

3 アスリートへの支援

大会コンセプトの一つである「アスリートファーストの視点」を持ち、アスリートを支える環境を整えるとともに、アジア競技大会をはじめとする国際大会で活躍する地元出身の選手の養成に向けて、将来トップアスリートとなり得るジュニア選手への支援を関係団体と協力しながら行います。

○主な取り組み

あいちトップアスリートアカデミー（スポーツ実施機会の提供）【教育委員会】

アジア競技大会の盛り上げをはかるとともに、スポーツを活かしたまちの魅力と活力の向上に寄与する事業として、第20回アジア競技大会をはじめとする国際競技大会で活躍できる地元選手の発掘及び育成を推進します。

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策10	生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいづくりを支援します
------	--------------------------------

スポーツだけでなく、文化の祭典でもあるアジア競技大会において、本市を訪れる人が、スポーツにとどまらず、歴史・文化・芸術・エンターテインメントなど国内外に誇る魅力を体感できるよう、本市が有する魅力資源の磨き上げや掘り起こしを進めるとともに、戦略的な観光プロモーションを推進し、本市の魅力を世界に向けて発信します。

○主な取り組み

名古屋城の魅力向上（名古屋城の整備・名古屋城の魅力向上事業） 【観光文化交流局】

名古屋城の魅力を向上させるため、戦災により焼失した天守閣を史実に忠実に木造復元するほか、石垣や二之丸庭園の保存整備等を実施するとともに、民間事業者のノウハウを活用した多彩なイベントの開催などを実施します。



名古屋城

堀川の再生【緑政土木局】

名古屋城築城とともに開削された堀川では、都心の貴重な水辺空間として、市民団体との協働による水質浄化の取り組みなどにより、良好な水辺環境の形成をはかるとともに、オープンカフェやイベントを実施するなど、水辺空間の利活用によるさらなる魅力づくりを推進します。



屋形船による堀川クルーズ

名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動支援【観光文化交流局】

名古屋フィルハーモニー交響楽団の認知度向上をはかるとともに、一層市民に親しまれ、誇れるオーケストラとなることをめざし、演奏活動を支援します。



名古屋フィルハーモニー交響楽団

コスプレホストタウン等の推進【観光文化交流局】

コスプレホストタウンPR隊などによる市民への啓発、受入機運醸成をはかるとともに、コスプレ・アニメの情報の集約・提供などを行うコスプレコンシェルジュの運営などを通じて誰もがコスプレを楽しめるまちを推進します。



世界コスプレサミット

東山動植物園の再生【緑政土木局】

名古屋のデスティネーションとして世界に誇れる東山動植物園をめざすため、展示、環境教育、種の保存、調査研究を強化推進します。



イケメンゴリラ「シャバーニ」

シビックプライド醸成に向けたプロモーションの推進【観光文化交流局】

低迷する市民推奨度を向上させるため、名古屋駅周辺や名古屋城・文化のみちなど本市の魅力資源が集積するエリアを題材とした、誇りや愛着につながる情報を市民に効果的に発信するプロモーションを実施します。



名古屋駅周辺ビル群と名古屋城

なごやめし～みんなに愛されるご当地グルメ～

「なごやめし」は、名古屋及びその近郊で広く受け入れられ、愛されてきたこの地域独特のメニューです。バリエーション豊かな点が大きな特徴で、代表的なメニューとして「味噌煮込みうどん」、「ひつまぶし」、「味噌カツ」、「手羽先」、「きしめん」、「あんかけスパ」、「ういろう（ういろう）」などがあります。特に、大豆と塩だけを原料とする豆味噌を使った、旨みの濃い料理が多いことが特徴です。

「なごやめし」という言葉は、平成12（2000）年に名古屋の飲食店企業が東京に進出した際、名古屋の郷土料理を取材しにきた東京のマスコミと飲食店企業のやりとりのなかで生まれました。

平成17（2005）年に開催された愛・地球博を契機として全国的に認知度が高まったことなどを受け、平成27（2015）年、「なごやめし普及促進協議会」を設立し、「なごやめし」のPR及びその魅力を活用した国内外からの観光客の誘致に積極的に取り組んでいます。

なごやめし普及促進協議会ホームページはこちら



○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策35	港・水辺の魅力向上をはかります
施策36	魅力的な都市景観の形成を進めます
施策37	歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
施策38	観光の振興・M I C E ^{マイス} の推進と情報発信により交流を促進します

5

インバウンドの促進、受入環境の整備

戦略的なシティプロモーションを推進し、国内のみならず世界中から本市を目的地（デスティネーション）として選んでもらうとともに、本市をゲートウェイとして日本各地を訪れてもらえるよう、インバウンドの促進に取り組み、交流人口の増加をはかります。

また、国内外から訪れたすべての人がストレスなく、快適に滞在し、観光を満喫できるよう、ハード・ソフト両面から受入環境の整備を進めます。

○主な取り組み

インバウンドの促進（海外からの観光客誘致の推進、高級ホテルの立地促進、ナイトタイムエコノミーの推進）【観光文化交流局】

海外からの観光客の誘致を促進するため、名古屋の観光魅力を活かしたプロモーション事業を実施するとともに、他自治体等と連携した広域観光を推進します。

あわせて、大規模な国際会議等のM I C E 及び富裕層旅行者の誘致につなげるため、質の高い宿泊施設の立地促進施策や、主に訪日外国人旅行者を対象とした夜間の観光消費額拡大のため、ナイトタイムエコノミーの推進に取り組みます。



オアシス 21

中部国際空港の機能強化及び利用促進【総務局】

国際的・広域的機能を強化するため、中部国際空港の完全24時間化の実現やL C C就航の増加を見据え、二本目滑走路をはじめとする空港の機能強化を推進します。あわせて、関係団体とともに空港の利用促進や航空会社へのエアポートセールスなど、航空路線の拡充に向けた取り組みを実施します。

中部国際空港
(中部国際空港株式会社提供)

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策33	世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
施策38	観光の振興・M I C E の推進と情報発信により交流を促進します

○まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値 (2030年度)
第20回アジア競技大会（愛知・名古屋開催）の市民認知度	31.8%	100%
外国人宿泊者数	165万人 (平成29年)	520万人 (令和12年)

大会で、アジアをはじめとした諸外国や多様な人々との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚を備え、多様性に理解を示す市民が増えるとともに、国際社会で活躍する人材が育ち・集う、開かれた都市になっている

アジア競技大会を契機に、スポーツや文化など幅広い分野で国際交流や国際貢献を推進することにより、過去にアジア競技大会を開催した都市などアジアをはじめとする諸外国との都市間ネットワークが強くなっています。

将来を担う若者たちが、諸外国の人との出会いや交流を通じて、国際感覚と世界に挑戦する意欲を高め、国際社会に貢献できるグローバル人材として成長しています。また、グローバル社会の中で夢をもって人生をたくましく生きる子どもが育成されるとともに、世界で活躍する人材が国内外から集うまちとなっています。

さらに、年齢、性別、障害の有無、国籍、宗教、文化的差異などを超えた多様な交流により、市民の豊かな国際感覚が養われ、多様性への理解が深まり、互いに支え合うことによって、すべての市民が暮らしやすい共生社会が実現しています。

■ 取り組みの方向性

1 国際交流の推進

2 グローバル社会の中で活躍できる人材の育成・確保

3 共生社会の推進

アジアとの交流

本市では、アジアをはじめとする外国諸都市との交流を促進するため、分野を特定した都市間の連携を行う新たな都市間提携（パートナー都市連携）を推進しています。

【パートナー都市連携指針より】

<目的>

○アジアをはじめとする外国諸都市と分野を特定した都市間の連携を行います。

<内容>

○包括的な交流でなく、特定の分野において実益をもたらすものとします。

○特定分野の交流を行うとともに、交流の発展をめざした新たな分野における交流を検討していきます。

○継続的かつ将来的な発展が見込まれるものを対象とします。

パートナー都市連携の促進
に向けた取り組みに関する
ホームページはこちら



タシケント市（ウズベキスタン）との交流会

■ 取り組みの方向性

1

国際交流の推進

大会を契機として、国際的に開かれたまちとなるため、アジア競技大会の先催都市やアジアの諸都市との都市間交流を推進します。

また、日本有数の大学の集積地であり、市内の大学からノーベル賞受賞者を多数輩出するなど高等教育機関が充実しているとともに、自動車をはじめ、航空機やロボットなどさまざまな分野で世界レベルの産業技術が集積する日本のものづくり産業の中核となっているといった本市の持つポテンシャルを活かし、大学や産業界が主体となったアジア諸国とのさまざまな分野での交流や国際貢献活動を促進するなど、産・学・官が一体となって、目覚ましい発展を遂げるアジア諸国とのさらなるネットワーク強化に取り組みます。

○主な取り組み

外国諸都市との交流推進【観光文化交流局】

外国諸都市とのつながりを深め、市民の国際感覚の醸成をはかるため、幅広い交流を通じて両市民の相互理解と友好親善を促進する姉妹友好都市交流と、アジアを中心とした都市と分野を特定した交流を行うパートナー都市交流を推進します。



名古屋まつりのパレードに参加する
姉妹友好都市親善使節団

市立大学における学生・研究者の海外相互交流の推進【総務局】

関係機関等と連携し、地域の国際化に貢献するため、留学生の積極的な受け入れや学生の派遣・留学の促進により、国際感覚豊かな人材の育成と研究者の派遣・受け入れを促進します。



留学生懇親会

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策34	国際的に開かれたまちづくりを進めます
------	--------------------

2

グローバル社会の中で活躍できる人材の育成・確保

大会を契機として、大学や企業と連携して最先端技術を学び、国際社会で通用する知識とコミュニケーション能力を身に着けた次世代を担うグローバル人材を育成するとともに、世界で活躍する人材が本市へ集うよう取り組みます。

あわせて、社会や人生をより良いものにしようと自ら考え、多様な他者と協働していくことのできる、新しい時代に求められる資質・能力が育まれるよう、子ども一人ひとりの個性を大切にしたきめ細かな教育を推進します。

○主な取り組み

グローバル・エデュケーション・センターの運営【教育委員会】

グローバル社会において活躍することができる人材を育成するため、国内外の企業や大学、研究機関等と連携し、グローバル環境の実体験等ができるグローバル・エデュケーションセンターを運営します（教育館2階に開設）。



教育館

市立高校生の海外派遣【教育委員会】

グローバルな視野を持つ人材を育成するとともに、外国語によるコミュニケーション能力の向上をはかるため、市立高校生の海外派遣を実施します。



マレーシアの幼稚園にて

画一的な一斉授業からの転換を進める授業改善【教育委員会】

基礎的な学力の確実な定着と、他者と協働しつつ自ら考え抜く自立した学びの実現に向けて、すべての児童生徒に対し、一人ひとりの進捗や能力、関心に応じた個別最適化された学びを提供するための授業改善を推進します。



教員研修会でのグループディスカッション

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策14

子どもの個性を大切にし、幅広い学力と豊かな心、健やかな体を育みます

3 共生社会の推進

大会を開催する都市として、すべての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍、宗教、文化的差異といったお互いの違いを違いとしてありのまま認めあい、誰もが安心・安全・快適に暮らせるよう、多様性への理解の促進に取り組むとともに、バリアフリーのまちづくりを進めます。

○主な取り組み

男女平等参画の意識啓発の推進【総務局】

男女平等参画について、性別や年齢にかかわらず幅広い市民に対して理解の定着をはかるため、あらゆる機会を通じて男女平等参画に向けた啓発や教育・学習を推進します。



イーブルなごやでの講座風景

福祉都市環境整備の推進【健康福祉局】

高齢者、障害者をはじめ市民の誰もが安全で快適に生活しやすく活動しやすい都市環境を築いていくため、ハード・ソフト両面からのバリアフリー化を推進します。



福祉都市環境整備指針



福祉都市環境整備指針

地域における情報の多言語化【観光文化交流局】

外国人市民に必要な情報を伝えるため、多様な言語・手段による情報提供と、外国人市民が身近に相談できる環境を整備します。



外国人相談窓口

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策1	人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくれます
施策2	男女平等参画を総合的に進めます
施策28	バリアフリーのまちづくりを進めます
施策34	国際的に開かれたまちづくりを進めます

○まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値 (2030年度)
地域で国籍の異なる人と交流がある市民の割合	33.7%	40%
高齢者や障害者、子どもを連れた人などすべての人に使いやすい施設整備がされていると感じる市民の割合	41.3%	60%

大会で、活用した都市基盤、先端技術、危機管理体制などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能な都市になっている

アジア競技大会で拡大する交流人口を引き継ぐため、選手村・競技施設や交通ネットワークをはじめとする都市基盤について、リニア中央新幹線の開業を見据えるとともに、SDGsの理念を踏まえ、社会課題に対応した整備を進め、大会終了後もまちづくりやにぎわいの拠点になります。

また、安心・安全な大会運営を通じて危機管理体制が充実するなど、ハード・ソフトの両面から都市機能が強化され、大会の運営基盤やノウハウが蓄積されます。

さらに、大会で活用された先端技術が産業や市民生活に広く普及され、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化など、低炭素で循環型のまちづくりが促進され、強い産業力に加え、環境にも配慮されたまちが実現しています。

こうした取り組みが、大会モデルとして未来へ引き継がれるとともに、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能なまちとなっています。

■ 取り組みの方向性

- 1 大会モデルの構築
- 2 新しいモデルとしての選手村の構築と大会後のまちづくり
- 3 大会後の活用を見据えた施設整備
- 4 利便性や防災性、危機管理体制を備えた都市機能の強化
- 5 イノベーションの創出、先端技術の活用・普及

リニア中央新幹線の開業

令和9（2027）年に開業が予定されているリニア中央新幹線により、東京から名古屋への移動時間が現在の約100分から約40分へ大幅に短縮されます。その後、東京から大阪までの全線開業が見込まれており、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が約1時間で結ばれ、7,000万人規模の世界最大の人口を有する巨大経済圏となるスーパー・メガリージョンが誕生します。

名古屋駅を起点に鉄道と道路で2時間以内にアクセスできるエリアの人口（2時間交流圏人口）は、品川－名古屋間の開業後には約6,000万人となり、品川駅起点の約5,200万人を追い抜き、全国最大となります。全線開通後も全国最大となることが見込まれており、さらなる交流の活性化が期待されます。

リニア中央新幹線の開業に向けた都心まちづくりに関するホームページはこちら



■ 取り組みの方向性

1 大会モデルの構築

質素・簡素・機能的・合理的な大会運営を行うことにより、国際総合スポーツ大会における名古屋モデルを構築し、大会の運営基盤やノウハウを本市に蓄積します。また、グリーンインフラの考え方を踏まえた取り組みを進めるとともに、先端技術の進展などの時代の潮流を見据え、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進など、環境にやさしい低炭素で循環型のまちづくりを進めます。

○主な取り組み

大会モデルの構築（第20回アジア競技大会等の推進）【総務局】

質素・簡素・機能的・合理的な大会運営をめざし、今後の先端技術の進展など、時代の潮流を見据えながら、開催都市としての運営準備を進めます。



第18回アジア競技大会の聖火台

水素エネルギーの利活用の推進【環境局】

利用段階で二酸化炭素を排出しない水素エネルギーの利用拡大をはかるため、家庭用燃料電池システム（エネファーム）や燃料電池自動車の普及を促進するなど、水素エネルギーの利活用を推進します。



次世代自動車の展示

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策24	身近な自然や農にふれあう環境をつくります
施策31	低炭素都市づくりを進めます
施策32	3 R を通じた循環型都市づくりを進めます
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

将来の自動運転社会に向けた企業との連携・協力

本市では、快適な移動、環境負荷の低減、産業の振興、まちの魅力や福祉の向上等のため、本市域において、ICTを活用した、将来の自動運転社会に向けた先進的モビリティサービスの充実及び市民生活の向上のための先進的な取り組みの検討を企業と連携・協力して進めています。

＜経緯＞

2017年6月：トヨタ自動車株式会社と自動運転等の先進的なモビリティ技術の活用について相互に連携するための協定を締結

2019年2月：MONET Technologies株式会社と、ICTを活用した将来の自動運転社会の実現に向けた先進的モビリティサービスの充実及び市民生活の向上のための先進的な取り組みを検討するにあたり、相互に連携するための覚書を締結

MONET Technologies
のホームページは
こちら



2

新しいモデルとしての選手村の構築と大会後のまちづくり

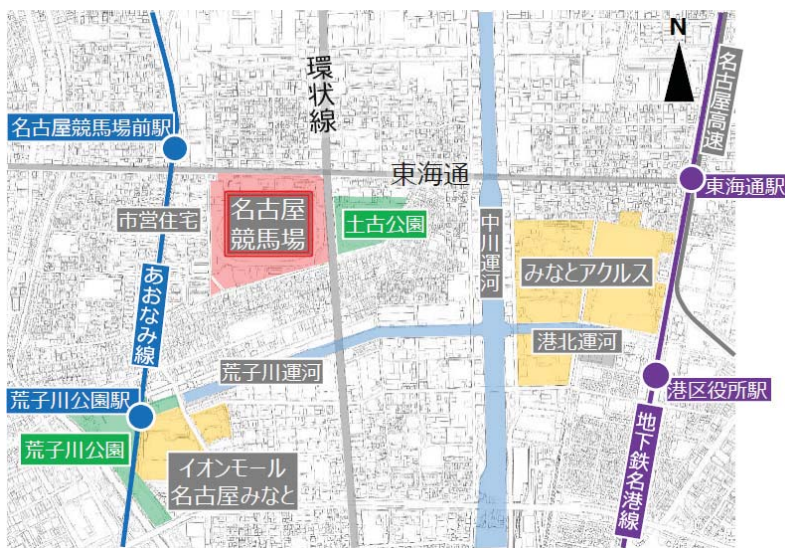
成熟都市である本市で開催するアジア競技大会の選手村の整備・運営の新たなモデルを構築するとともに、この機会を契機に、名古屋競馬場跡地や周辺地区のにぎわいと新たな地域ブランドの形成に向け、社会の変化に柔軟に対応し、災害に強いしなやかなまちづくりを進めます。

○主な取り組み

選手村の整備及び跡地を含めた港北エリアのまちづくりの推進

（第20回アジア競技大会選手村の整備及び大会後の跡地のまちづくりの推進、港北エリアにおけるまちづくりの推進）【総務局・住宅都市局・緑政土木局】

選手、役員が安心・安全・快適に滞在できる生活環境を提供するため、名古屋競馬場跡地に整備するメイン選手村の計画、整備を検討・推進します。また、将来を見据えたまちづくりが重要であるため、跡地や公園など既存のインフラの活用を含めた港北エリアのあり方について検討・推進します。



選手村予定地及び周辺の概況

【第18回アジア競技大会の選手村】



選手団の入村式



選手村のダイニングホール

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策24	身近な自然や農にふれあう環境をつくります
施策26	良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

3 大会後の活用を見据えた施設整備

大会で活用する施設について、大会後も継続して大規模競技大会やイベント等の誘致・開催に対応できるようにするとともに、アスリートだけでなく、すべての市民が安心・安全・快適に利用でき、にぎわいの拠点などとなるように、その後の活用を見据えた環境整備を進めるとともに、効率的な運営に取り組みます。

○主な取り組み

瑞穂公園の整備【教育委員会】

各種のスポーツ施設を備えた総合運動公園である瑞穂公園が、アジア競技大会後も本市のスポーツ振興の拠点となるよう、体育館や陸上競技場をはじめとした施設整備を進めるとともに、市民の憩いの場や地域の防災拠点としての機能を視野に入れた公園全体の整備を推進します。



名古屋市瑞穂公園陸上競技場
イメージ

国際展示場の運営・整備【観光文化交流局】

M I C E を推進するため、その基本インフラとなる国際展示場を管理・運営するとともに、拡大し多様化するM I C E 活動に対応し、M I C E 開催地として選ばれる都市となるよう拡充・機能強化を実施します。



名古屋市国際展示場新第1展示館
イメージ

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策38	観光の振興・M I C E の推進と情報発信により交流を促進します
施策39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

4

利便性や防災性、危機管理体制を備えた都市機能の強化

大会で、充実した交通ネットワークなどに支えられた快適な大会運営や災害が発生した時に被害を最小限に抑えるための安心・安全な運営体制の構築をめざします。

また、大会を契機に拡大する交流人口に対応するとともに、2027年に予定されるリニア中央新幹線の開業も見据えながら、安心・安全で快適な都市空間の形成に向けて、高い利便性や防災性、充実した危機管理体制を備えた都市機能の強化を進めます。

○主な取り組み

名古屋駅ターミナル機能の強化【住宅都市局】

リニア中央新幹線の開業により形成されるスーパー・メガリージョンの中心拠点にふさわしい交通機能と空間機能を兼ね備えたスーパーターミナルの実現のため、駅へのアクセス性の向上や交通結節機能の強化、ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成を実施します。



名古屋駅

名古屋駅・金山駅周辺の帰宅困難者対策の推進（帰宅困難者対策の推進、都市再生安全確保計画等の作成・運用）【防災危機管理局・住宅都市局】

大規模災害発生時において、公共交通機関の途絶により発生する帰宅困難者に伴う混乱を抑制及び解消するため、官民一体となり対策等を実施します。



帰宅困難者を想定した防災訓練

地下鉄駅の内装・照明などのリニューアル【交通局】

地下鉄が開業から60年以上経過していることを踏まえ、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅全体の壁、床、天井、照明などのリニューアルを実施します。



地下鉄駅のリニューアルイメージ

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策16	災害に強い都市基盤の整備を進めます
施策17	防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
施策18	市民の命を守る消防体制の充実強化をはかります
施策25	公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりを進めます
施策27	歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
施策33	世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
施策45	公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

5

イノベーションの創出、先端技術の活用・普及

大会を、国内外へ先端技術を発信する場として活用するとともに、大会を契機として、域内経済のさらなる活性化や持続的な成長につなげていけるよう、IoT、AI、ロボット、自動運転などの先端技術の活用・普及をはかり、経済・産業分野における絶え間ないイノベーションの創出を促進します。

また、多様な産業間の相互交流を進めるとともに、外資系企業、本社機能やICT企業などの戦略的な企業誘致を進めます。

○主な取り組み

新たな路面公共交通システム（SRT）の導入推進【住宅都市局】

SRT（Smart Roadway Transit）は名古屋駅や栄、名古屋城、大須など、都心部の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、にぎわいを面的に拡大する新たな都市のインフラであり、2027年のリニア中央新幹線開業に向けて、段階的な導入を進めます。



SRTの走行空間イメージ

先進モビリティの社会実装（総合交通政策の企画推進）【住宅都市局】

自動運転をはじめとした先進的モビリティ技術について、公道実証実験や、自動運転を活用したラストワンマイル交通確保の社会実験・検証を進めます。



三の丸官庁街周辺における自動走行の公道実証実験

イノベーション戦略の強化・推進【市民経済局】

名古屋大都市圏の経済のさらなる発展をめざし、イノベーション活動のグローバル展開など企業の新たな価値の創造を促進するため、経済団体等との連携により企業の交流・共創を促すイノベーション拠点を設置・運営するとともに、戦略推進プランの策定や推進体制の構築、次世代の産業人材向けの教育、中小企業向けの支援事業等の調査・検討を実施します。

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE
(ナゴヤイノベーターズガレージ)

○名古屋市総合計画2023における主な関連施策

施策25	公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりを進めます
施策41	新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します

○まちの姿の実現に向けた成果指標

成果指標	現状値	目標値 (2030年度)
新たに確保された緑の面積	41ha	480ha (12か年)
イノベーション創出件数	262件	2,380件 (12か年)